

平成28年度 7月定例会会議録

- ◎招集年月日 平成28年7月21日(木)
◎開催日時 平成28年7月28日(木) 午前9時30分～午前11時40分
- ◎場 所 伊那市役所 庁議室
◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理者、原田教育委員、田畑教育委員
◎欠席委員 なし
◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、北野学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、宮下スポーツ振興課長、中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 委員の一言(田畑委員)
- 4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長報告
- ・委員長から、銀座NAGANOで行われた「しあわせ信州健康セミナー」の記録はあるか質問が出され、指導主事より、発表のパワーポイント、まとめられた感想はあるとの説明があり、後日配付することとした。
- ・委員長から、長谷小学校の音楽集会を参観したことの無い委員には、非常に勉強になる内容であり、是非参観してもらいたいと発言があった。

第2 協議事項

(1) 全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・職務代理者から、校長会で校長から学校の独自判断で公表できるのではないかという発言があったことに関し質問が出され、学校教育課長より、要領で「学校においては、自校の結果について、それぞれの判断において、(エ)に基づき公表することは可能であること。」と謳われているとの説明があった。
- ・職務代理者から、校長会での発言のとおり、校長の独自判断で公表されることには問題がある。校長へ通知文書を出すにあたっては根拠がないといけない。「公表する内容等について学校に指示する場合」に該当するというのでよいかとの質問があり、学校教育課長より、そうであるとの回答があった。
- ・教育長より、公表の基準に、「公表する内容や方法等については、教育上の効果

や影響等を考慮して適切なものとなるよう判断すること。」とされており、1校の公表がほかの学校へ影響することもある。また、「調査結果は学力の特定の一部分であるということ」、「個人が特定されるおそれがある場合は公表しない」とされていることなどを総合し、全校長へ依頼するとの発言があった。

- ・委員長より、1校が公表した場合、市全体の学校に与える影響が極めて大きく、そのことを考慮した教育委員会の基本的な方針に基づいてやってほしいというのが、伊那市教育委員会の考え方であり、その考え方で各学校に依頼するということがよいか問われ、全委員の同意を得た。
- ・委員長から、統一的な見解で各学校に依頼する内容として、昨年と同様、「全国や県と比較する場合、序列化や過度な競争につながらないように配慮した表現とする。」「生活習慣と学力の関係についても公表する。」とした配慮事項を付していきたいがよいか問われ、全委員の同意を得た。
- ・委員から、学力テストの結果について、公表する、公表しないということ、教育委員会で議論されていること自体を知らなかったとの感想が出された。
- ・委員から、各校の置かれた環境、状況も違い、公表には一定の配慮が必要で、その配慮の基準を教育委員会で示していくことと、独自の判断で公表できるとする校長権限とは、同じステージで議論されるべきものではない。基準に配慮したうえで、校長の考えで対応してもらえばよいとの発言があった。
- ・委員長から、評価は、指導との一体化が根底にあり、点数を公表して上位・下位を表すためではない。授業を充実させていくために評価するということを外してはいけない。説明責任が言われているが、説明責任はテストを受けた児童・生徒、保護者に説明するところであり、公表することが説明責任を果たすことにはならないということを確認してほしいとの発言があった。

第3 報告事項

(1) 伊那中・伊那西小共同調理場改築工事について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、平面図から伊那小学校の給食施設と同様の構造でよいか質問が出され、学校教育課長より、似ているが、プラットホームを付けたカート前室を設け、伊那西小学校に配送するとの説明があった。

(2) 児童生徒の言語活動充実と新聞活用に関する協定書の締結について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、締結に至る経過について質問があり、学校教育課長より、飯田市で締結を結んだという新聞報道があり、伊那市でも是非締結して欲しいとの市校長会長からの要望を受け、信濃毎日新聞と調整し締結したとの説明があった。
- ・委員長から、学校現場では大変ありがたい協定であるとの感想が述べられた。

(3) 第6回中学生サミットについて

- ・資料に基づき指導主事説明
- ・職務代理者から、議会形式で市側の答弁はそれぞれ部長がするのか質問が出され、指導主事より、基本的に市長から答弁をもらうとの説明があった。
- ・職務代理者から、生徒が一生懸命やることなので、思いきり市長に質問して欲しいとの要望があった。
- ・委員長から、追加提案に加え、更に生徒が再追加で提案することは可能か質問があり、指導主事より、補強提案はあるかもしれないが、再追加提案はしないとの説明があった。
- ・委員長から、シナリオに沿い型にはまった流れが危惧される。せっかくの模擬議会なので、「ほかに追加提案のある生徒はいますか。」という投げかけはしていないのではないかと質問があり、学校教育課長より、議会形式のため、質問を事前に通告する、それに対する答弁を行うといった形式的になる部分は仕方がない。ただ、声掛けする場面はあってもよいとの説明があった。
- ・職務代理者から、展開によりアドリブ的要素が入ってくることも予想される。運営するこちら側も覚悟しておいて対応する必要がある。提案趣旨や答弁が多少ずれることは仕方がないし、その方がいいとの発言があった。

(4) 伊那市学校給食農体験事業「暮らしのなかの食」について

- ・資料に基づき指導主事説明
- ・委員長から、教育委員会運営方針に基づく4視点でまとめられ、分かりやすくなった。こうしたことの積み重ねで事業が見えてくる。内山講師の記録も丹念に起こされ、先生たちも積極的に質問され、非常に教えられることが多かった。ありがたかったとの感想が述べられた。
- ・教育長から、西春近北小学校の子どもたちは大豆を育て、「かんでんぱぱ」のゼリーを使ったきな粉ゼリーを作ろうとしている。伊那西小学校では陶器について学習し、自分たちが使用する器を作ろうと取り組んでいるとの情報提供があった。
- ・委員長から、事業開始1年目は多少戸惑いが見られたが、3年経ち、各学校に浸透し意欲的に取り組んでくれている。どこの学校に行っても畑がきれいに管理され草が少なく、各学校の努力に敬意を表したいとの発言があった。

(5) 平成28年度生涯学習基本構想進行管理について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、取り組みが不十分な「E評価」の項目が分からないとの質問があり、生涯学習課長より、基本構想の見直しを受け項目も変更となっている。4月の定例教育委員会で配布、報告済であるとの説明があった。

(6) 第4回千両千両井月さんまつりについて

(7) 平成28年度成人式について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明

- ・委員長から、県外からの投句の多い新座市東野小学校とはどういう関係があるか質問が出され、生涯学習課長より、特別な関係はなく、取り組みができる先生が在籍しているためであるとの説明があった。
- ・委員長から、春富中学校と長谷中学校から投句のないことを問われ、生涯学習課長より、依頼しており、作成した井月の冊子も渡してある。今後の投句に期待したいとの説明があった。
- ・委員長から、市内の学校からは是非お願いしたい。関連して、短歌部門で最優秀賞受賞の新聞報道も目にする伊那西高校等にも積極的に投句してもらえばありがたいとの要望があった。

(8) 伊那市美術館協議会委員の委嘱について

- ・資料に基づき文化振興課長説明
(質疑なし)

(9) 第3回信州いなクロスカントリーレース・第6回伊那市トリムマラソン大会について

(10) 日独スポーツ少年団同時交流ドイツ団受け入れについて

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
(質疑なし)

(11) 共催・後援について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
(質疑なし)

5 その他（教育次長）

(1) 8月の日程について

(2) 9月の主な日程について

- ・市民体育祭 9月4, 11, 25日
- ・小学校運動会 9月17日(土)
- ・総合教育会議 9月20日(火) 午後3時30分～
- ・中学校文化祭 9月30日(金)、10月1日(土)
- ・9月定例教育委員会 9月29日(木) 午後1時30分～

6 閉 会